



2015年10月30日

アステラス製薬の清須工場の事業を譲受 バイオ医薬品製造事業を強化

日本マイクロバイオファーマ株式会社(本社:東京、代表取締役社長:鈴木 正暢、以下「MBJ」)は、アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長:畑中 好彦、以下「アステラス製薬」)の生産拠点の一つである清須工場(愛知県清須市)における事業の譲渡を受けることに関し、本日、同社と契約を締結致しました。

MBJは同工場を活用することで、自社の50年に及ぶ発酵生産や遺伝子組換え、発酵等の技術・ノウハウを応用したバイオ医薬品[タンパク・ペプチド医薬品(サイトカイン、成長因子、ホルモン、ワクチン、酵素、フラグメント抗体等)、DDS*¹、ADCs*²等]製造事業を更に強化して参ります。

生物(細胞、バクテリア等)により産出されるバイオ医薬品は、従来創薬の中心であった主に化学合成による低分子医薬品と比べて分子が大きく、構造も複雑ですが、生体内で特定の標的にピンポイントで作用することで高い治癒効果を示し、更には副作用リスクを小さくすることも可能です。バイオ医薬品の開発は近年ますます活発化しており、その世界市場規模も2014年の段階で2,250億米ドル(約27兆円)にまで成長し、2018年には3,000億米ドル(約36兆円)を超えるまでに拡大するとも言われております。

MBJはこの成長著しいバイオ医薬品の製造を技術基盤に加え、自社オリジナル技術、サービスのポートフォリオを拡充し社会ニーズやお客様のニーズにより広く対応することで、事業拡大を目指して参ります。

*¹DDS : (Drug Delivery System)薬物送達システム。薬理成分の体内への放出や吸収、輸送等、薬の体内動態を制御することによって、薬の有効性を高める技術。

*²ADCs: (Antibody Drug Conjugates)抗体薬物複合体。薬理活性を持つ化合物と抗体を繋げた薬物。疾病細胞に対して特異的に作用させることが可能。

(1) 譲渡の対象

清須工場の不動産、動産(設備、機器等)及び医薬品製造事業

(2) 清須工場の概要

- 所在地 : 愛知県清須市中河原156番地
- 敷地面積 : 21,139.18 m²
- 建築面積 : 3,270.27 m²
- 事業内容 : 医薬品の原薬の製造

(3) 事業譲渡のスケジュール

- 2015年10月30日 : 譲渡契約の締結
- 2016年4月1日(予定) : 事業の譲渡

以上

※ 本件お問い合わせ先: 日本マイクロバイオファーマ(株) 営業・事業開発部 (TEL:03-6265-1767)